

## Orosháza-Gyopárosfürdő

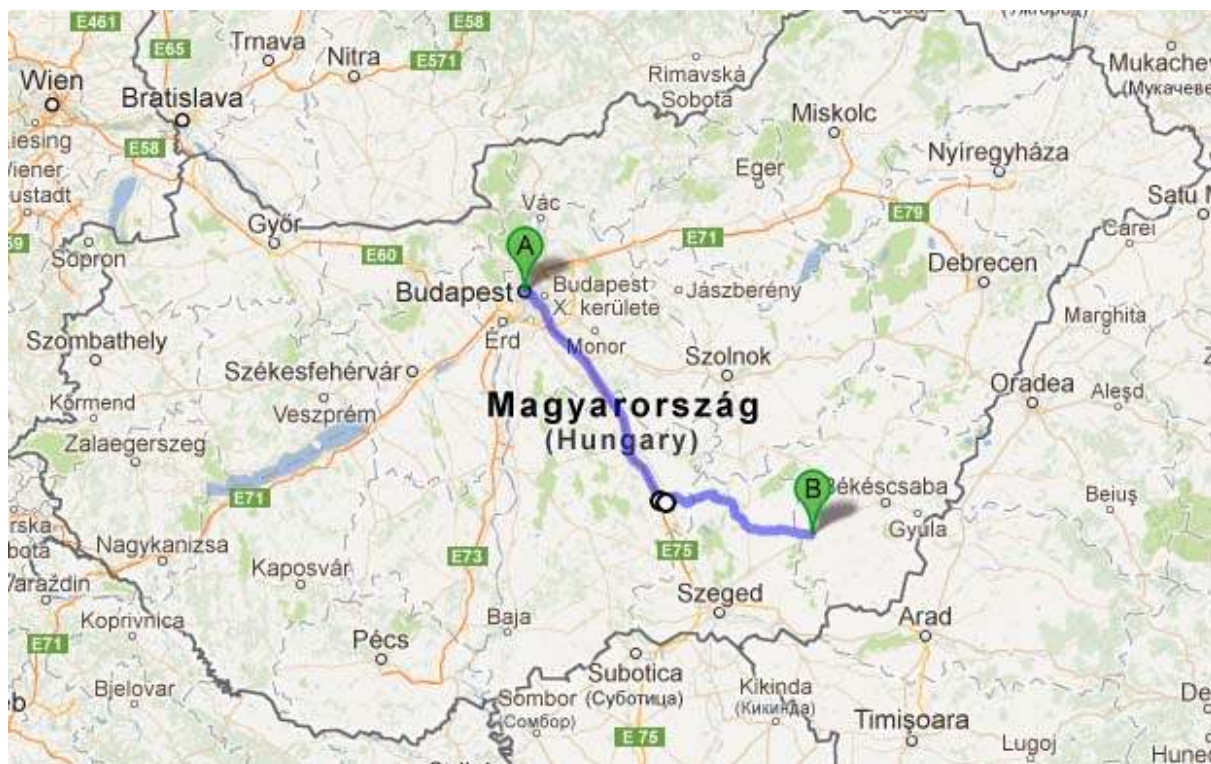
### オロシュハーザ・ジョパーロシュフルデーの基本データ

|         |                            |
|---------|----------------------------|
| 国:      | ハンガリー (Magyarország)       |
| 地方:     | 南大平原地方 (Dél-Alföld régió)  |
| 県:      | ベーケーシュ県 (Békés megye)      |
| 市町村:    | 市                          |
| 郵便番号:   | 5900                       |
| 市外局番:   | 68                         |
| 市長:     | ダンチョー・ヨージェフ(Dancsó József) |
| 面積:     | 202, 22 km <sup>2</sup>    |
| タイムゾーン: | グリニッジ+1                    |
| 人口:     | 29342人 (2011年)             |
| 人口密度:   | 146, 52人/km <sup>2</sup>   |



オロシュハーザの紋章

### オロシュハーザの位置



オロシュハーザはハンガリーのベーケーシュ県の南西にある、ジョパーロシュフルデーの町と呼ばれることの多い町です。ジョパーロシュフルデー(ジョパーロシュ温泉)は町から約3kmのところにある有名な温泉です。ブダペストから電車やバスで行っても約3時間半がかかります。電車で西駅(Nyugati pályaudvar)や東駅(Keleti pályaudvar)から一回乗り換えると

行けます。乗り換え駅は西駅から行くとセゲド(Szeged)で、東駅から行くとベーケーシュチャバ(Békéscsaba)です。バスでネープリゲト駅(Népliget buszpályaudvar)からオロシュハーザまで乗り換えず行けます。ブダペストから車で行く場合、高速 M5 号線でキシクンフェールエジハー(Kiskunfélegyháza)まで行けます。そこから道路 451 号線でセンテシュ(Szentes)までです。センテシュからデレクエジハーズ(Derekegyház)やナジマーゴチ(Nagymágocs)を通してオロスハーザに着きます。

## オロシュハーザ・ジョパーロシュフルデーの歴史



町の歴史は新石器時代までたどることができます。町の周辺で見つかった出土品がそれを証明しています。町の「オロシュハーザ」という名前は1466年最初に記録されました。もともとザラード県の一部でしたが、その県が15世紀になくなった後にベーケーシュ県に属するようになりました。トルコ統治が原因で町は一度滅びましたが、その後再入植が行われ町が再建されました。これは町の歴史にとっても大事な出来事です。そのときゾムバ町から来た人たちがオロシュハーザが再建しました。現在ゾンバ市がオロシュハーザ市の姉妹都市となっています。オロシュハーザは元々農業の町でしたが、18世紀から他の産業も広まり始めました。そして、二つの世界大戦の間には「ハンガリーの一番大きな村」と呼ばれるほど大きくなりました。1936年には人口が2万5千人になりました。そして1946年に都市になりました。

1869年に行われた調査の結果、町の近にあるジョパーロシュ湖(Gyopáros-tó)の水は健康に良いみずだということがわかりました。アルカリ性鉱泉のため、1869年以来、各種の炎症患者、リウマチ患者の治療に使われてきました。

## オロシュハーザの有名人



Gróf Apponyi Albert 「アポニ・アルベルト伯爵」(1846年－1933年)

オロシュハーザ名誉市民、政治家、議員、ハンガリー科学アカデミー(MTA) 会員、1920年の第一次世界大戦後のパリ講和会議でハンガリー代表団長でした。



Thék Endre 「テーク・エンドレ」(1842年－1919年)

オロシュハーザ出身、家具製造者、ハンガリー家具大量生産の創始者でした。



Petrik József 「ペトリク・ヨーゼフ」(1930年－1995年)



オロシュハーザ出身、俳優、舞台監督、声優、“Pom pom meséi”『ポム・ポム物語』のポムポムの声優、“A Szabó család”(サボ一家)というハンガリー人なら誰でも知っているラジオドラマキャストの一人でした。

Csáki-Maronyák József 「チャーキ・マロニャーク・ヨウージェフ」



(1910年－2002年)オロシュハーザ出身の銅版画工、風俗画、風景画、静物画、肖像画家でした。

# オロシュハーザの見所

## ジョパーロシュフルデー(温泉) Gyopárosfürdő (2)

「ハンガリー大平原の真珠・Az Alföld gyöngye」

ジョパーロシュフルデーは、都心から3km のところにあります。47°Cのアルカリ性鉱泉が



湧き出る療養温泉は、1869 年以来、各種の炎症患者、リウマチ患者の治療に使われてきました。現在のジョパーロシュフルデーは、プール・療養温泉・ウォーターパークとして知られている Oroszháza の辺りに一番人気があるところです。Gyopáros 湖では、ボート遊びや水上自転車遊びもできます。一年中様々なイベントの舞台にもある場所です。



**所在地:** 5904 Gyopárosfürdő, Faszor utca 3.

## Történelmi Emlékpark 「歴史メモリアルパーク」 (A)



トルコ統治で滅びた町の再入植や再建250を記念してつくられたメモリアルパーク。ハンガリーの歴史の先人の様々な苦勞を私達が忘れないようにと立てられた石には希望への道を表す「1991 年」が金文字で彫られています。1991 年はハンガリーでのソビエト連邦占領が終わった後の新しいスタートを意味しています。Táncsics Mihály Gimnázium「ターンチチュ・ミハーユ・ギムナジウム」の前にある公園は現在、オロシュハーザの独特な景色の一部です。

**所在地:** 5900 Oroszháza, Táncsics Mihály tér 1.

## Oroszházi templomok 「オロシュハーザの教会」



### Evangelikus templom (B)

1777年に建立が始まり、現在の形に1830年完成したバロック様式のルター派の教会は、町の歴史的文化財です。

**所在地:** 5900 Orosháza Thék Endre utca 2



#### **Katolikus templom (C)**

1920年に完成したカソリック教会は町の大通りの近くにあります。

**所在地:** 5900 Orosháza, Széchenyi tér 1.



#### **Református templom (D)**

カルバン派の教会は第一世界大戦の頃、1914年と1917年の間に建てられたネオ・ゴシック様式の教会です。

**所在地:** 5900 Orosháza, Könd u. 5.



#### **Zsinagóga / Művészetek háza (E)**

元々シナゴグであったこの建物は、現在色々な文化イベント、コンサートや美術展の現場として使われています。

**所在地:** Orosháza, Bajcsy-Zsilinszky utca 4.

#### **Szántó Kovács János Múzeum 「サーントー・コヴァーチ・ヤーノシュ博物館」 (F)**



博物館の出品は主として民俗学資料で、町や郊外、地域の日常に関する展示が行われています。民俗学の他に考古学や美術資料も展示されています。現在にも色々な常設展示や特別展があります。

**所在地:** 5900 Orosháza, Dózsa Gy. u. 5.

#### **Kútmúzeum 「井戸博物館」 (G)**



サーントー・コヴァーチ・ヤーノシュ博物館保有の井戸博物館は、ハンガリーに一つしかない博物館です。井戸から給水塔まで、全種類の給水施設を紹介しています。

**所在地:** 5900 Orosháza, Könd utca 1.

### Városi Képtár 「市立ギャラリー」 (H)



町の中心にある市立ギャラリーは広さは583m<sup>2</sup>の広さで、常設展示7つがあります。一階で Nicolás Muller (Müller Miklós) 「ニコラス・ムツラル/ムツラル・ミクローシュ」写真家、Bolmányi Ferenc 「ボルマーニ・フェレンツ」画家と Feldmann Tibor 「フェルドマン・ティボル」画家の作品、また二階では、3人画家 Pap Gyula 「パプ・ジュラ」、Boldizsár István 「ボルディジャール・イストヴァーン」、Csáki-Maronyák József 「チャーキ・マロニャーク・ヨージェフ」と Emil Vitroel 「エミル・ヴィトロエル」彫刻家の作品が展示されています。オロシュハーザ関係者の常設展示以外に

様々な特別展を始め文学や音楽リサイタル、美術や美術史の発表会も行われています。

**所在地:** 5900 Orosháza Thék Endre utca 1.

## オロシュハーザ・ジョパーロシュフルデーのホテル

ジョパーロシュフルデーは町のメインスポットでホテルやレストランも大体にこの辺りにあります。

ホテルのレストランでも独特なハンガリー料理が食べられます。



### Hotel Napsugár ☆☆☆(ホテル・ナプシュガール)(I)

ジョパーロシュ温泉やジョパーロシュ湖のすぐ近くにある昔から続いている人気があるホテルです。お客様がホテルからの直接的な廊下でジョパーロシュ温泉まで行けます。

**所在地:** 5904 Gyopárosfürdő, Hűvös u. 2-4.

- 電話 +36 68 412-361
- 電子メール [repcio@napsugar-hotel.hu](mailto:repcio@napsugar-hotel.hu)
- [napsugar-hotel.hu](http://napsugar-hotel.hu)
- 47 号室
- 温泉からの距離 460 m
- 都心からの距離 2.830 m

### Fehér Hattyú Panzió és Étterem ☆☆☆(フェヘール・ハッチュー・パンジオー・レストラン)(J)



この居心地のよい小さな宿屋が温泉入り口のすぐ近くにあります。Fehér Hattyú のレストランが宿客以外にも人気があります。

**所在地:** 5904 Gyopárosfürdő, Faszor u. 13.

- 電話 +36 68 510-330
- 電子メール [pansio@feherhattyu.hu](mailto:pansio@feherhattyu.hu)
- [www.feherhattyu.hu](http://www.feherhattyu.hu)
- 10 号室
- 温泉からの距離 120 m
- 都心からの距離 2.590 m

## Hotel Corvus Aqua ☆☆☆☆ (ホテル・コルヴス・アクア)(K)



この新しいホテルはジョパーロシュ湖畔にあり、きれいな景色に囲まれています。ホテルからジョパーロシュ湖や温泉も楽しめます。

**所在地:** 5904 Gyopárosfürdő, Húvös u. 1.

- 電話 +36 68 413-810
- 電子メール [info@hotelcorvus.hu](mailto:info@hotelcorvus.hu)
- [www.hotelcorvus.hu](http://www.hotelcorvus.hu)
- 36 号室
- 温泉から距離 270 m
- 都心からの距離 2.750 m



# オロシュハーザ・ジョパーロシュフルデーの レストラン・喫茶店



## Aranypatkó csárda (アラニパトコー・チャールダ)(L)

ジョパーロシュ温泉の辺りにあるレストランです。家庭料理に近い味、一般的な美味しいハンガリー料理があるレストランです。

**所在地:** 5900 Orosháza, Szentesi út 62/a.

- 電話 68/411-621
- 電子メール [aranypatko@gmail.com](mailto:aranypatko@gmail.com)
- [www.aranypatkocsarda.hu](http://www.aranypatkocsarda.hu)
- 温泉からの距離 820 m
- 都心からの距離 2.400 m



## Rétesbolt és Kávézó (レーテシュ屋・喫茶店)(M)

オロシュハーザ人が愛してやまない伝統的なケーキ屋さんです。レーテシュ(ドイツ語:シュトゥルーデル)がメインでまた他の色々な甘いやしょっぱい菓子があります。

Dózsa Gy. u. 15.

- 電話 68/412-749
- 電子メール
- 温泉からの距離 3.640 m
- 都心からの距離 1.140 m



**所在地:** 5900 Orosháza,

30/370-1354  
[evageleg@gmail.com](mailto:evageleg@gmail.com)



## Diófa Csárda (ディオファ・チャールダ)(N)

オロシュハーザとジョパーロシュフルデーの間にあるハンガリー料理のレストランです。

**所在地:** 5900 Orosháza, Szentesi út 30.

- ・ 電話 68/412-382 、30/535-5097
- ・ 電子メール adidas@orosnet.hu
- ・ diofacsarada.atw.hu
- ・ 温泉からの距離 1.570 m
- ・ 都心からの距離 1.210 m



### Amadeus Kávéház (アマデウス喫茶店)(O)

都心の喧騒から離れて休みたい場合にお勧めの店です。

**所在地:** 5900 Orosháza, Győri Vilmos tér 2.

- 電話 30/578-4671
- 電子メール info@amadeuskavehaz.hu
- www.amadeuskavehaz.hu
- 温泉からの距離 3.130 m
- 都心からの距離 640 m

または、オロシュハーザの名物と言われている「Orosházi tányéros スープ」や「フォアグラ」です。



Orosházi tányéros スープとは、牛肉、色々な野菜(人参、パセリ、トマト、ピーマン、じゃが芋)、ゆで卵、調味料(ローリエ、マージョラム、タイム、塩、胡椒)でできたスープです。



オロシュハーザのフォアグラはハンガリーの中で有名です毎年オロシュハーザで「フォアグラ・フェス」が行われています。

## 町の歩き方



町を歩くと、「Orosháza」(1)と「Gyopáros」(2)に分けた方がいいと思います。のんびりしたい場合には、一日中 Gyopáros に泊まって、プール・温泉やジョパーロシュ湖の景色を楽しんだり、周りにある林での散歩が楽しめます。多くのホテルやレストランもこの辺りにあるので、ゆっくりしたり美味しいハンガリー料理を食べたりことができます。オロシュハーザ自体は大きな町ではないので、短い時間で歩き回ることができます。おすすめなのはカルバン派の教会(D)からスタートすることです。まず井戸博物館(G)の方へ行きます。すると博物館や歴史メモリアルパーク(A)や市立ギャラリー(H)へ進めます。近くにアマデウス喫茶店(O)もありますから、ここに立ち寄るのも良いかもしれません。次に近くにある2つの教会、カソリック派の教会(C)、ルター派の教会(B)とシナゴグ(E)を見てみましょう。サーントー・コヴァーチ・ヤーノシュ博物館(F)もこの辺りにあります。最後に美味しいレーテシュを食べれる喫茶店(Rétesbolt)(M)に行ってみましょう。名所はすべて町の中心やその近くにあるのでいろいろ他の歩き方でも可能です。オロシュハーザでの滞在、楽しんでみてください。

詳しくは、オロシュハーザのホームページをご覧ください。

<http://gyoparosfurdo-oroshaza.hu/en/>

